

## 3学期が始まりました！

3学期が始まりました。始業式では、校長先生から校訓の「生き生き」に関連させて「目標を持つこと、自分の力を出し切ること、挨拶100点を目指しましょう」とお話がありました。

保護者のみなさまや、子供たちの中には、今年目標を立てた方も多いのではないのでしょうか。

昔の日本では、生まれた年を1歳と数える「数え年」という年齢の数え方が一般的でした。そのため、元旦

に一斉に1歳ずつ加算していったようです。大晦日と元旦が1年の区切りだったのです。多くの方が「1年の計は元旦にあり」と、その年の目標を立てていたようです。

一方、現代の学校は年度で運営されるので、1月というより4月に目標を立てることが多いようです。学級担任は、4月に学級が決まると「この1年間でこの学級をこのような学級にしたい。1年後には、このような子供たちにしたい」という学級経営案を立てます。この指針となるのが、この紙面でもお知らせした学校の教育目標です。令和6年度の九町小学校の教育目標は「知・徳・体のバランスの取れた、心豊かでたくましい児童を育てる」です。この目標の達成に向けて、日々の教育活動を行っているわけです。

学校種は違っても、全ての学校で、このような教育目標を立てて教育活動を行っています。久留米大学の安永悟教授は、教育の最終目標を全ての人が平和で幸せに暮らせる社会づくりに向け、それぞれの「現場で活躍できる人材の育成」と捉えています。そして「現場で活躍できる人材」を常に学び続け「変化成長できる人」とみなし、そのような人を右のような行動特性で表現しています。このように言葉で提示されると身構えてしまいがちですが、子供たちの発達段階に応じた取組がなされていると感じます。例えば、小学校の授業は、本時の課題やめあてを確認することから始まりますし、ペアやグループ学習、自分の考えの表明、振り返りなど、単元や諸活動でこれらを取り入れていることが分かります。

子供たちは、学級や支部子供会で3学期の目標を立てました。また、25日に行われる学習発表会に向けて目標を立てた人もいることでしょう。今学期も、子供たちが目標を達成できるよう、支援していきたいと思えます。



### 変化成長できる人の行動特性

- ① 目的意識を持って
- ② 幅広く情報を収集し
- ③ 主体的かつ論理的に考え
- ④ 自分の言葉で語り
- ⑤ 仲間と交流して
- ⑥ 根源を問い続け
- ⑦ 実践でき
- ⑧ 結果に責任をとれる人

(出典) 安永悟 (2019) 授業を活性化する LTD